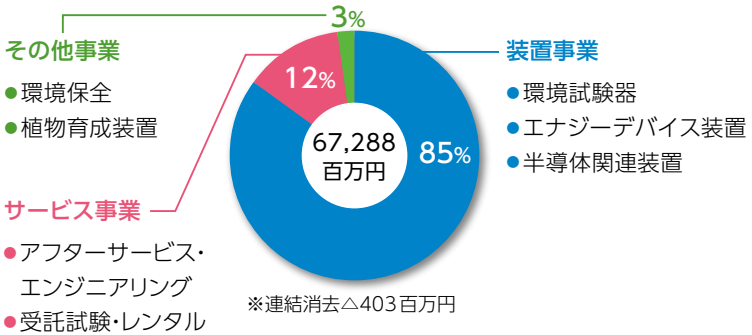
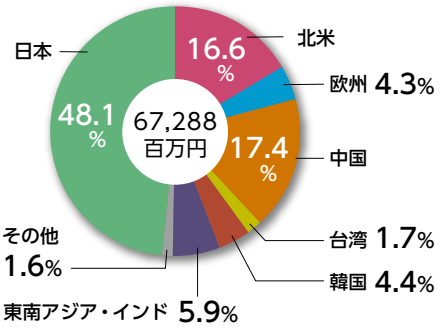
事業セグメント別概況

事業セグメント別売上高構成比



※連結消去△403百万円

地域別売上高構成比

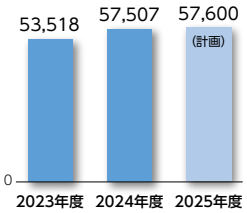


装置事業

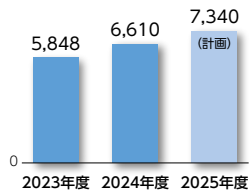
環境試験器については、国内市場では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品いずれも前年度比で受注高・売上高ともに増加しました。海外市場では、受注高は主に北米、中国が増加しましたが、東南アジアが減少し前年度並みとなりました。売上高についても、欧州が減少したものの東南アジア、北米、韓国が増加し前年度並みとなりました。なお、中国は前年度と同水準でした。エナジーデバイス装置については、EVバッテリー向け一括案件の投資に一服感があり、主に国内において前年度比で受注高・売上高ともに減少しました。半導体関連装置については、サーバー関連の大型案件の受注獲得により、前年度比で受注高は増加しましたが、売上高はメモリ関連の投資抑制の影響を受け、大幅に減少しました。装置事業全体では、前年度比で売上高は7.5%増加し、販管費が増加したものの主に増収により営業利益は13.0%増加しました。

試料温度を20℃/分で制御可能な
急速温度変化チャンバー(TCC-151W-20)

売上高 (百万円)



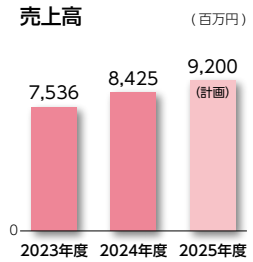
営業利益 (百万円)

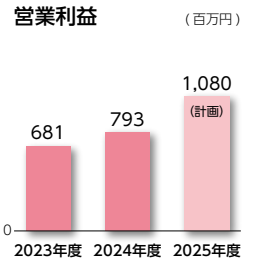


サービス事業

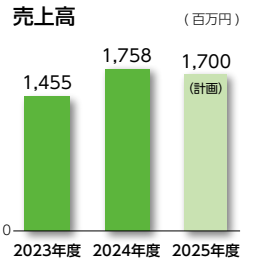
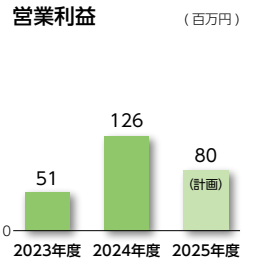
アフターサービス・エンジニアリングについては、予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、前年度比で受注高・売上高ともに増加しました。受託試験・レンタルについては、EVバッテリー向け試験設備増強の効果があり、前年度比で受注高・売上高ともに増加しました。サービス事業全体では、前年度比で売上高は11.8%増加し、人員増などにより販管費は増加しましたが売上高の増加により、営業利益は16.4%増加しました。

2024年度、とちぎバッテリー安全認証センターを拡張
充放電試験および通電環境試験の試験設備を増強





その他事業

環境保全事業および植物育成装置事業を中心とするその他事業では、水辺づくりや森づくりが堅調に推移し、さらに植物研究用装置や植物工場の大型案件がありました。また、大阪・関西万博で展示されるアクアポニックス（植物の水耕栽培と陸上養殖を組み合わせた循環型生産システム）や会場の緑化のための植物苗・資材も納入しました。こうした結果、前年度比で売上高は20.8%増加、売上高の増加により営業利益は146.3%増加しました。

在来種によるビオトープとエスペックの森（神戸R&Dセンター）